

沢登り教室（初心者・初級者コース）

年間カリキュラムに従って、日帰りから1泊程度の遡行グレードとして1～2級程度の沢を安心して遡行できる技術の習得を目指し、沢登りの熟達者やガイドの計画する初級程度の沢行きに安心・安全に同行できるように必要な知識と技術を学ぶことを目的とします。終了後、さらに向上する意欲と能力を持った人は、中級者コースへ進級することもできます。

- 入塾資格 ①おおよね60歳までの沢登りを学び、初級の沢を自身の力で遡行できる技術や知識を習得したいという意欲のある沢登り初心者・初級者
②毎月1回または1回以上の講習会に参加できる方。
ただし、中級者コースへ進級を希望される方は月2回(必修実技講習、補講実技講習)参加できる方。
- 活動期間 2020年3月～11月の土日、休日
- 応募期限 2020年2月末日（定員になり次第締め切ります。）
- 募集人員 3人
- 授業料
- | | | |
|----|--------|----------------|
| 月額 | 日帰り | <u>15,000円</u> |
| | 1泊2日 | <u>30,000円</u> |
| | (6月のみ) | |

※月額授業料とは、毎月1回の必修実技講習会に参加するための費用です。ただし、塾生の都合により申し込みをされた月の必修実技講習会を欠席する場合は、当該月の授業料はお返ししませんので、ご承知おき下さい。

※月1回の授業として参加する必修実技講習会の他に、当該月の他の講習会に参加される場合は、月額授業料の他に、当該講習会に参加するための参加費が必要になります。

※山岳保険（山岳登はん）に適用される保険）には必ず入っていただきます。

※ご自分で山岳保険に入っている場合は、ご自分の責任において、山行の都度、保険会社または所属山岳会に届け出をしていただき、保険が適用できるように手続きをして下さい。手続きを怠ったことにより山岳保険の適用がされなくても当塾は一切責任は負えません。

- 入塾手続き ①入塾申込書、質問票に必要事項を記入の上、申し込みをして下さい。毎月末に一括して入塾の可否を審査し、通知します。
②入塾審査は、沢登りの経験、登山経験、年齢、参加可能曜日、参加可能回数、中級者コース進級の有無等を考慮して行います。
- 入塾上の注意 ①講師や他の講習生に迷惑をかける行為があつた場合には受講をお断りすることがあります。この場合、自己都合による欠席とみなし、当該月の授業料は返金しません。
②自己の体調管理には十分注意すると共に、体調の悪いときには、講習会への参加は見合わせてください。
③沢登りは危険な登山形態です。どんなに注意を払っても事故は起きるものですので、各自がその自己責任のもとに参加してください。
④講習時の事故に対しては、加入している山岳保険の範囲内でできるかぎりの捜索・救助活動（遭難現場から最寄りの病院まで搬送するまでの活動）をします。怪我や入院休業の補償をするということではありませんので、ご承知おきください。

⑤他の参加者に迷惑をかける行為および当塾の講習についていけないと当塾が判断した場合は、退塾を勧告することがあります。

□ その他 用具は一定期間、一部お貸しします（ヘルメット・ハーネス・エイト環・カラビナ・シュリング）。

【受講上の注意】

①講習の変更及び中止

- ア. 悪天候等により、講習当日、講習場所を変更することがあります。
- イ. 悪天候等により、やむを得ず休講または途中で中止することがあります。休講の場合は、原則として他の日（当該月以外の日を含む）に振り替えて講習を行います。なお、山行中の悪天候、不可抗力等による中止の場合は、当該月の授業料の返金はいたしません。
- ウ. 講師の急病や事故など、塾の事情により休講する場合には、必ず振り替え講習を行います。

②講習生の都合による欠席

- ア. **塾生の都合により月1回の必修実技講習を欠席する場合でも、月額授業料は必要になります。**
- イ. 講習日に講習生の都合により受講を取りやめる場合は、前日の午後7時（前夜発講習の場合は、その前日の午後7時）までに連絡してください。この場合、やむを得ない事由であると当塾が認めた場合は、他の講習日に振り替えることが出来ます。なお、振り替える講習日がない場合及び前日までに連絡がない時は欠席とみなし、授業料の返金はいたしません。
- ウ. 必修実技講習会以外の当該月の他の講習会を塾生の都合で欠席した場合は、参加費の以下の欠席料がかかります。

申込日当日から7日前（前夜発講習の場合は8日前）まで 20%
 前日の午後7時（前夜発講習の場合は、その前日の午後7時）まで 50%
 無断欠席 100%

- エ. 講習日当日、集合時間の30分が過ぎても集合場所に現れない場合は、無断欠席とみなし出発します。この場合は、講習会に参加したものとみなします。また無断欠席が2回以上続く場合は退塾とみなします。
- オ. 無断欠席や講習生の習熟度等により、講習に支障があると当塾が判断した場合は、退塾を勧告することがあります。
- カ. **③講師諸経費は、参加者の頭割りにてご請求させていただきます。**

講師諸経費とは、講師が現場に到着するまでの往復の交通費や山小屋などの宿泊費、その他発生する経費（食事代、入浴代等）です。

例) 参加人数4名、講師諸経費6,000円の場合
 講師諸経費 6,000÷参加人数4=1,500円

※ガソリン代は概算走行距離÷概算燃費×1ℓ当たりの市場価格で計算します。

※申込み後に欠席をした場合は、当該講習に参加したものと頭割りの人数に加え、その分を欠席料に加算させていただきます。

【年間カリキュラム】

1. 必修実技講習・・・岩トレ（ロープワーク）1回、沢トレ1回 実践沢登り7回、計9回

月	課 題
3	岩トレ（ロープの束ね方、結び方、懸垂下降、岩場の登り方等）、岩場のグレンデで行う。
4	沢登りの準備（地形図の作成、装備の確認）、沢登りの実体験、沢の地形
5	読図、遡行図の書き方、滝の登攀、遡下降
6	泊りの沢
7	水線遡行

8	草付き処理、スラブ登攀、藪漕ぎ
9	草付き処理、スラブ登攀、藪漕ぎ
10	秋の沢登りの楽しみ方、秋の沢登りの危険性
11	まとめ

※カリキュラムは、塾生の習熟度等により変更することがあります。

2. 補講実技講習・・・ 月1回のカリキュラム以外に行う実技講習会です。補講実技講習会は、月1回の必修実技講習会では足りない部分を補い、沢登りの総合力を身に付けるために行うものです。

中級以上の沢は、総合力がなければ安心、安全には登れません。沢登りは経験値が必要とされる登山です。総合力は月1回の講習で身につくものではないので、中級者コース進級を希望される場合は、補講参加が必須条件です。

別途参加費が必要です。

日帰り(前夜発日帰りを含む)・・・15,000円～16,000円

1泊2日・・・30,000円

2泊3日・・・40,000円

3. 机上講習・・・3月第1週の土曜日または日曜日いずれかの入塾説明会当日に行う。
沢登りの装備、基礎知識、基礎技術および遡行技術(読図、遡行図の書き方等)